

「臨床整形外科」最優秀論文賞 2012 発表

このたび、「臨床整形外科」最優秀論文賞を設け、整形外科領域に関する独創的で優れた論文を表彰することとなりました。昨年1年間(2012年、47巻)に掲載された投稿論文を対象に、編集委員会による厳正な審査のもと、下記論文の受賞が決定いたしました。

「思春期特発性側弯症 Lenke type5 カーブに対する 後方矯正固定術における固定範囲短縮の試み」

岡田英次朗・他(慶應義塾大学)

47巻7号:613-618, 2012

■審査講評

特発性側弯症に対する後方矯正固定術の問題の一つに、固定範囲の長さがある。固定範囲を短くすれば、患者のADL上の問題にも好ましい影響を与えられる。この結果、患者のQOLの向上も期待できる。

本研究は、後方アプローチの持つ問題点や費用対効果に対する一つの解決策を提示している。と同時に、study designの問題も提示している点で評価できる。

■受賞のことば

このたびは「臨床整形外科」第1回最優秀論文賞に選出いただき誠に有難うございます。本研究は思春期特発性側弯症 Lenke 分類 type5 カーブに対する椎弓根スクリューを用いた後方矯正固定術において、固定範囲の短縮が可能かどうかを検討したものです。椎弓根スクリューを用いた後方矯正固定術は従来法と比較して優れた矯正が得られることが知られています。手術を受ける若年者に対し固定範囲を短縮した方法でも良好な治療成績の獲得が可能かどうか、臨床での疑問点として感じ研究を行いました。本研究の結果、本カーブにおける固定範囲は短縮が可能であると推察しました。

本研究は私個人の力で全うできるものではなく脊椎班スタッフの日々の臨床での努力と、戸山芳昭教授、松本守雄准教授、渡辺航太講師のご指導の賜物と考えております。この場をお借りしてご協力いただきました先生ならびに臨床整形外科編集委員の皆様にご心より感謝いたしますとともに、本賞が今後さらに発展していくことを望みます。



岡田英次朗氏

本論文は、2013年4月1日から2014年3月31日まで1年間、医学・看護の電子ジャーナルサイト MedicalFinder 内の下記 URL において無料で閲覧いただけます。

URL=<http://medicalfinder.jp/ejournal/1408102388.html>

なお、「臨床整形外科」最優秀論文賞 2013 は、48巻1~12号(2013年)の掲載論文が対象となります。奮ってご投稿ください。